

千葉市 公園施設長寿命化計画 2  
(泉自然公園)

平成28年3月

千葉市 都市局 公園緑地部 若葉公園緑地事務所

## 1. 都市公園整備状況（千葉市）

（平成 26 年度末時点）

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
1,056	725.4ha	7.54 m <sup>2</sup>

※人口 962,554 人（平成 27 年 3 月末時点）

## 2. 計画期間〔平成 28 年度～平成 37 年度（10 箇年）〕

### 3. 計画対象公園

#### ①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
						1						1

#### ②選定理由

（ 供用開始から 50 年近くが経過し施設の老朽化が進むとともに、数多くの市民に  
利用される都市公園（泉自然公園）を選定した。 ）

#### ○参考（千葉市全体）

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
878	64	9	6	1		4	2	4		70	18	1,056

## 4. 計画対象公園施設

#### ①対象公園施設数

園路 広場	修景 施設	休養 施設	遊戯 施設	運動 施設	教養 施設	便益 施設	管理 施設	災害応急 対策施設	その他	合計
40	1	21	-	-	-	10	248	-	-	320

#### ②これまでの維持管理状況

（ これまで全ての公園施設を対象に随時、公園緑地事務所による維持保全（清掃・  
保守・修繕）と日常点検を行っている。  
橋梁は、これらの管理に加え、定期的に補修点検を実施している。  
これらの点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから補修等を行ってきた。 ）

### ③選定理由

対象公園である「泉自然公園」が供用を開始して50年近く経過し、施設の老朽化が進んでいる。

また、便所（特にアルミサンドイッチパネル製）について利用者から更新の要望が多数出ている。

これまで、橋梁など部分的な補修を実施してきたが、公園施設の総数が多く総合的・計画的な管理が行えていなかったことから、管理施設を含む施設全体を計画対象施設として選定した。

## 5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

点検調査は、主に平成27年12月に実施した。

### 1. 一般施設、土木構造物

一般施設及び土木構造物（橋梁）については、国土交通省の「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」に則り、健全度調査を実施した。

調査結果の概要を以下に示す。

#### a. 一般施設（1）【シェルター】

A判定：0施設、B判定：0施設、C判定：1施設、D判定：0施設

#### c. 土木構造物（1）【橋梁】

A判定：0施設、B判定：1施設、C判定：0施設、D判定：0施設

## 6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検は、公園緑地事務所により随時実施し、公園施設の機能の保全と安全性を維持するとともに、施設の劣化や損傷を把握する。

公園施設の異常が発見された場合は、使用を中止し事故等を予防するとともに、直ちに健全度調査を実施し、補修もしくは更新を判定する。

### a. 一般施設、c. 土木構造物、d. 建築物

- ・日常点検で施設の劣化や損傷を把握した場合は、利用禁止の措置を行うとともに直ちに健全度調査を実施し、施設の補修もしくは更新を判定した上で措置を行う。

### e. その他設備

- ・法で定める年1回実施する定期点検を健全度調査として活用する。

## 7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

### 1. 予防保全型に類型した施設

- ・事後・予防の類型は、ライフサイクルコストの算定結果を踏まえて確定する。
- ・可能な限り健全度がCになる手前で適切な長寿命化対策を実施し、施設の延命化を図る。
- ・一般施設（シェルター）については、5年に1回の健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状況を確認する。
- ・次回以降の健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合には、長寿命化計画の見直しを行う。

#### a. 一般施設、c. 土木構造物、d. 建築物

- ・日常点検及び5年に1回実施する健全度調査により施設の劣化及び損傷を把握する。
- ・点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、消耗材の交換等を行う他、必要に応じて利用禁止の措置を行う。

#### e. その他設備

- ・日常点検及び5年に1回実施する健全度調査により施設の劣化及び損傷を把握する。
- ・健全度調査は毎年1回実施する定期点検の結果を活用する。
- ・点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、消耗材の交換等を行う他、必要に応じて利用禁止の措置を行う。

### 2. 事後保全型に類型した施設

- ・健全度調査を実施しないため、維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検で公園施設の機能の保全と安全性を維持する。
- ・日常点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、施設の更新を行う。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等  
※ 別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況」）による

9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

（ 今回長寿命化計画を策定した公園における10年間のライフサイクルコスト縮減額は120千円である。 ）